

所弓便

第5号

所沢市弓道連盟会員 318名

年頭にあたって —初射会・新年会挨拶より—

会長 新家 透

新年おめでとうございます。

100名近い皆さんがお元気で参加して戴き、役員一同大変喜んでおります。

また、本日は、当麻よし子市長を始め多くの来賓に臨席いただき初射会・新年会が開催出来ました。大変有難うございます。

さて、今年はウサギ年で「一段と飛躍して下さい」とお願いするものですが、皆さん、干支に付いての民話で、猫がネズミを追っかけると、何故ネズミが一番目か？ など、ご存知の事と思いません。ここでにわか勉強から一言。

年賀状に目の無い卯「卯」と書きましたが、古代中国から伝わる十干・十二支では、今年は、辛卯（かのとう、又は、しんぼう）にあたります。

「辛（しん）」の字は、新家の新（あたらしい）で草木が枯れて新たな世代が生まれようとする状態を表しているそうです。

「卯（ぼう）」の字は、「茂る」意味で草木が地面をおおう状態を表しているそうです。

と云う訳で、今年は、所弓連がさらに一段と飛躍を遂げる元年の様です。

皆さん ともに飛躍しましょう。

.....

平成23年の新年会に臨み、皆さんに支えられ、無事、今日を迎える事が出来感謝致しております。

先ほど、初射会で所弓連がさらなる飛躍元年と申し上げましたが、肝心の弓道修練に付いて如何でしょう。

皆さん、新年を迎え、例えば、今年は手の内を改良しようとか、体配を正確に覚えようとか、何か考えましたか。

実は、私は、弓手の手の内を改良しようと思っています。ただ、射位に立つと、その気持ちを忘れてしまっていたりします。

先日、そんな雑談をしていて、今日の話のテーマを「三日坊主」にしよう決めました。

先日、ラジオで（またラジオかと思わないでください）関西の落語家が、こんなことを云っていました。

正確では有りませんが、三日で坊主なら（坊主と呼び捨てにして申し訳ありません）、三週間で僧正、三ヶ月で菩薩、三年で如来と云った様な事でした。

また、乞食と坊主は三日やると止められないと云った人も居ります。

三日の三は、三回のことで同じ事を三度繰り返せば、三度目の正直であったり、石の上にも三年だったり、では無いでしょうか？

何かを成すするには、目標の難易度、自分の努力（又は怠慢）の次第により、三度、三月、あるいは、三年かかるものと思います。

自分を「三日坊主」と否定的に考えずに、目標を持って努力し、一段と飛躍しようではありませんか。

∞ 各部報告 ∞

【総務部】

所弓連会員数

2月28日現在の会員数は318名です。

今年度新たに、初心者教室修了生23名、スポ

一ツ少年団関係21名、そのほか17名、計61名が入会されました。

11月以降新たに入会された会員

日野義弘 関口二郎 伊藤祐二

昇段・昇格

(11月14日以降 1月末まで)

昇段おめでとうございます

五段 藤原敬一

四段 澤田靖子 竹下 眸

参段 川端由美子 竹下正博

初段 前島あずさ 林 友美

所沢市体育協会賞

次の方々の受賞が決定しました。表彰式は3月5日午前11時より市民体育館サブアリーナにて行われます。

体育協会功労賞

甲斐久歳

体育協会優秀選手賞

竹添鈴葉 市川仁美 三好啓子 澤田靖子

下田 徹 森田新助 粕谷吉一

弓馬術礼法小笠原流重藤弓允許

鈴木博先生を偲ぶ

弓馬術礼法小笠原流重藤格允許

埼玉県同門会支部長 森田清義

鈴木博先生の突然の訃報に接しびっくりするばかりでした。

先日も医者への往診との話を聞きすぐに電話を入れると、御本人が出られていつもと変わらぬご対応でしたので安心して居りました。ところが入院されたとのことで、お見舞を用意して道場に朝行きましたが、その日の朝の6時15分にお亡くなりになったとお聞きしてびっくりした次第でした。

其の日の内に顔出しお見舞に行き、先生にお会いして来ました。とてもおだやかな寝顔でいらっしゃいました。

先生は、小笠原流発展に心血をそそがれておられ、平岡先生の後を引き継がれ、そのご人徳もあって当初2~3人しかいなかった組織を現在の40名近い会にまで育てられるなど、小笠原流発展のために尽くされた功績はご立派なものでした。

約30年前には世田谷の宗家の道場に、当時は小笠原清信先生の頃でしたが、鈴木先生とご一緒に稽古に伺い、宗家の教えを頂きまして楽しく過ごして帰って来た事を今でも思い出します。

又、過去30年の間に各地に弓道場が作られ、数え切れない程道場開きに招かれ、先生の介添を務めて参りました。



鈴木博先生射影

先生は、見て覚える様にとあまり教えてくださらないのでした。小笠原流は宗家の家訓として、問はざれば答えず、ですので今でも私なども聞かれないと教えない様にして居ます。

又、鈴木先生は所沢弓道連盟の会長を四期務められ、その間私が理事長を務めました。丁度所沢に武道館を作る時でしたが、弓道場について何も

知らない設計者だったため、弓道場にふさわしくないおかしなものが出てしまうので、毎日のように二人で建設中の弓道場を見に行き、手直しの連続でした。

市の体育課に話をすると、設計者が居るからまかせて下さいという云うことで話にならず、作っては壊すそして作り直す、そんな状態で大変苦労した事をおぼえて居ります。やっと出来上がりほっとしたものでした。武道館建設の時の所弓連会長として大変ご苦労された事と思います。

又、秩父の引間範士の秩父神社への弓と矢の奉額式に先生と二人で鳴弦の儀を奉納したことなど、きりが無い程沢山の思い出につつまれた、先生とご一緒に過ごさせて頂いた30年間でした。

心より先生のご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

所弓連新年祝賀懇親会

1月16日午後、午前中の初射会に引き続き、熊野神社社務所で新年祝賀懇親会が、会員58名の参加に加えご来賓に当麻よし子市長、秋田孝市議会議員、並木正芳前衆議院議員、三上嘉徳宮司、中野健治氏子会々長をお迎えし、途中から柴山昌彦衆議院議員の飛び入り参加もあり、賑々しく開催されました。

冒頭、新家会長より、新年にあたり毎年弓道修練の目標を立てるが、すぐにそれを忘れてしまう、ということから「三日坊主」の「三」をテーマに、何かを成すのに、目標の難易度、自分の努力次第により、三度、三月、あるいは三年かかることもあろうと思う。弓道修練も同じで、なかなかうまくいかなくても自分を「三日坊主」と否定的に考えずに、目標を持って努力し、一段と飛躍しましょう、という楽しい中にも示唆に富む挨拶がありました。

引き続きご来賓にご挨拶を頂き、草賀先生のご発声で皆の健康と発展を祈念して乾杯。弓道談議

やら諸々の話題に大いに盛り上がる中、今年も声楽家の松尾みどりさんにより「愛の賛歌」が披露され、その力強い歌唱に会場から盛んな拍手が送られました。

お開きに当たり、橋田先生より、新年初射会で触れられた「真剣な稽古」に加え、この松尾さんの歌唱のように肚の底からの力強い射を引いて欲しいというお話があり、見原先生の音頭による豪快な一本締めでお開きとなりました。会場や食事・お漬物などの準備、また後片づけなど、皆さまのご協力ありがとうございました。

神社道場メンテナンス

- 10月19日 矢道芝刈り
- 10月26日 安土裏倉庫及び矢拭き場所に照明新設
- 11月27日 コピー機契約終了・撤去
男子和室整理・清掃
- 11月30日 巻藁1本新品と取り替え
- 12月11日 台所ガス元栓交換
- 12月19日 両道場大掃除
神社65名 武道館30名参加
安土屋根、遠的場矢止ネット強風対策及び遠的矢止畳取り替え
- 1月20日 遠的場側面矢止めネット損傷修理
- 1月27日 掲示板止めピンボックス作成



神社道場芝刈り

【指導部】

定期講習会

1月末までの講習会受講者数

橋田教室 (毎月第1木曜日、第3土曜日)

受講者延 139名

土曜講習会 (草賀先生) (毎月第2土曜日)

受講者延 94名

水曜講習会 (見原先生) (毎月第4水曜日)

受講者延 131名

所弓連四段以下講習会

1月30日 (武道館)

講師: 草賀先生 新家先生

受講者: 19名

寒 稽 古

1月7日～11日

武道館 延37名

神社道場 延98名



寒稽古を終えて

【競技部】

月例射会

(10月 3日) (遠的30名 近的46名参加)

《遠的》

1位 粕谷吉一 2位 目黒靖彦 3位 藤田 良

《近的》

・3段以下の部:

1位 内藤丈蔵 2位 中村康代 3位 中根幸二

・4、5段の部:

1位 中村徳海 2位 永田欽一 3位 星川三樹男

・称号の部:

1位 目黒靖彦 2位 粕谷吉一 3位 甲斐久歳

(12月12日) 納射会 (97名参加 武道館)

《団体戦》

1位 竹下 眸 菊池彩乃 渡邊徳雄

2位 藤原敬一 土田千春 下田 徹

3位 渡部知実 金井雄太 粕谷吉一

《個人戦》

・2段以下の部:

1位 田中健一 2位 西原郁哉 3位 伊藤 颯

・3、4段の部:

1位 中村徳海 2位 三由憲之 3位 徳弘芳子

・五段以上の部:

1位 粕谷吉一 2位 下田 徹 3位 小山和枝

(12月31日～1月1日) 百射会 (神社道場)

参加総数24名 100射修了者 16名)

1位 下田 徹 93中 2位 粕谷吉一 81中

3位 中村徳海 72中 4位 小林康則 72中

5位 星川三樹男 67中 6位 山田大介 58中

7位 熊井紀一 53中 8位 元田郁男 53中

9位 中村康代 45中 10位 藤田 良 41中

(1月16日) 初射会(92名参加 神社道場)

《金的賞》

天位 三好啓子 地位 石川淳子

人位 宮本莉緒 [四位 五位は該当者なし]

《扇的賞》

天位 松寄 昇 地位 関口二郎

人位 栗原大智 四位 中根幸二

五位 平山夏子

対外競技会

(10月17日) 埼弓連女子選手権大会(上尾)

・3段以下の部

2位 澤田靖子 4位 竹下 眸

(11月14日) 青少年三道大会(武道館)

小中学生22名 高校生49名 計71名参加

所弓連会員手伝42名参加

(11月23日) 武州大会(武道館)

342名参加(対前年27名増加)

10位 上橋 宏 14位 奥富季乃

(12月5日) 西部支部納射会(武道館)

3段以下42名 4・5段58名

称号者 45名 計145名参加

《称号の部》 2位 新家 透

(1月23日) 西部支部初射会(武道館)

151名参加(内 所弓連38名参加)

《祝射》 六段 三好啓子

五段 水口 清 藤原敬一

《個人戦》 2位 水口清

【スポーツ少年団】

10月10日 ところざわ祭り 26名参加

10月31日 秩父第一弓道場落成記念大会

小学17名 中学9名参加

11月14日 青少年三道大会

小学14名 中学8名参加

11月23日 武州弓道大会

小学11名 中学9名参加

11月28日 埼玉県武道大会

支部代表中学6名参加

12月5日 西部支部納射会 中学4名参加

12月12日 所弓連納射会

小学14名 中学6名参加

12月18日 スポ少納射会 27名参加

12月19日 大掃除(神社道場)

1月16日 所弓連初射会

小学13名 中学7名参加

1月23日 西部支部初射会 中学2名参加

∞ 投 稿 ∞

お 守 り

澤田 靖子

5回目の挑戦となった昨年11月熊谷での四段審査、着物を変えて心気一転臨むはずが・・・

審査前日、あと一手あと一手と引いていくうちに、袖を払い腕に青あざまでもができ、離すことさえ怖くなってしまったのです。

「なぜ、今」と、焦るばかり。

そんな私を下田由美子さんが見て下さり、「襷のずれが原因なのでは？」と、着物の素材によってずれにくい襷を選ぶ必要があることを、教えてくださいました。着物と襷の相性まで考えもせず、不安いっぱいになるとは・・・

由美子さんの襷をお借りして、なんとか袖を払わなくなり、「お守りに」と、そのままお借りした襷で挑んだ審査でした。

当日、冷や冷やしながら、心強いお守りのお陰で無事襷がけを終え、いつになく落ち着いて引くことができました。

掲示された「合格」の文字にほっとひと安心、

「審査は行ってみないとわからない」という下田先生の言葉とともに、じわじわと嬉しさが湧いてきました。

弓を初めてまだ5年、知らないことが沢山ありますが、いつでも快く教えて下さる先生方、心強い先輩方、一緒に練習できる仲間感謝して、弓の難しさも楽しさに変えていきたいと思えます。

そして、いつの日か「お守り」を渡せるようになりたいなど、思えます。

43年ぶりのチャレンジ

藤田 良

私は学生時代弓道に打ち込んでいました。しかし社会人となり毎日忙しくもう弓を射ることは無いと思っておりましたが、平成21年9月に定年退職を迎え何か趣味を見つけようと考えた末学生時代の頃を思い出し、今一度弓を引いてみようと思を決心しました。

そして道場の門を叩き、43年ぶりに弓を手にしたところ期待と喜びでいっぱいになりました。反面当時のように弓が引けるか心配しましたが、先生先輩方の温かいご指導の下で稽古させていただき当時の感触が少しずつ戻り、気持ちだけは学生時代にタイムスリップしました。

現在は月の半分は仕事、残りの半分を使って道場へ通っていますが、今では一ヶ月の半分の道場通いではもの足りず毎日通いたい気持ちになっています。

あっという間に6ヶ月が経ち、参段の審査の申込を先輩、弓友からの後押しをいただき重い腰を上げ昨年5月実施の所沢審査会に臨みました。

審査前日の稽古では全体的に中らず、ただ気持ちは焦るばかりでしたが、審査日は自然体を心掛けて何よりも楽しもうという気持ちでいどみました。

42年前に式段を取った私の立ちは一番おしまいの大後、中る事より八節を基本通りに集中した

結果が思ってみなかつた2本中的の束り、120%の力を発揮する事が出来合格しました。

これもひとえに先生、先輩方のご指導のおかげと心から感謝しております。

次の目標に向って堅忍不拔の精神で精進していきたいと思っています。これからもご指導宜しくお願い申し上げます。

弓道と出会って

松尾みどり

昨年の夏に入門させていただいてから、早いもので1年半が過ぎようとしています。最初の1ヶ月の間、千屋先生からは、弓道のいろはの「い」から手ほどきいただきました。弓道用語を覚えるのも、弓の所作を覚えるのも必死の毎日で、今となっても、あの毎日はずごかったな……。思い出しても恥ずかしい思いがいたします。

秋からは、見原先生、矢内先生などからご指導をいただきながら稽古の毎日。後日談ですが、「箸にも棒にも……。いったいどうなることかと思ったよ」と笑っておられました。

不思議なことに、そんな私が、楽しくて、ワクワクして、朝になるのが待ち遠しいのです。「教えていただく」「常に新しい課題と発見がある」ことは、とても幸せです。

的までの28mのグリーンゾーンの開放感は、机の上で楽譜とにらめっここのそれまでの私の生活では味わったことの無い最高のものでした。体調を崩していた私には、これも良い薬となったようです。日に日に元気になっていく自分を楽しみながら、毎日道場に通いました。

先生方、諸先輩方の厳しい中にも温かいご指導の中で、いつしか、矢渡しの瞬間の中に「弓の神様の気」を感じるようになりました。よく「無心で……」とありますが、これは神様の御心に添えた時に与えられる瞬間ではないかしらと、今、その思いは強くなるばかりです。

いつか、私にも「弓の神様」が降りてきてくれる日を楽しみに、稽古に励みたいと思っています。こんな私ですがどうぞよろしく願いいたします。

熊野神社弓祭・第43回武州弓道大会

平成22年11月23日、標記弓道大会が、今回は会場を所沢市民武道館に移して開催されました。

午前8時、新家会長以下代表者が熊野神社にて大会無事開催の御祈祷を受ける頃、武道館に集合した役員は諸準備に総がかり。生憎午前中は雨が上がり、参加者の出足がやや鈍かったものの、午後からは晴れてこの時期としては穏やかな日となり、県内外より最終的に前年の315名をしのぐ342名の弓友の参加を得て、大熱戦が繰り広げられました。

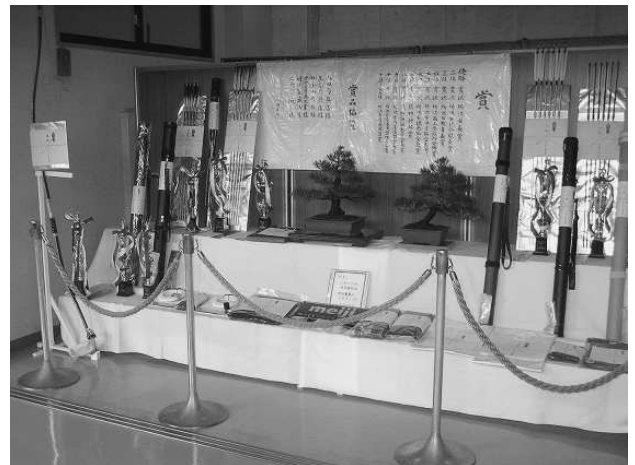
新家会長の先導により、熊野神社遥拝、正面国旗拝礼の後、鈴木欣三大会副会長が開会を宣言。新家会長の、日頃の修練の結果を発揮しよい結果を出されるよう、また入賞を逃しても、よい思い出をお持ち帰り頂きます様に、という挨拶に続き、ご来賓の秋田孝市議会議員、並木正芳前衆議院議員より選手に激励のご挨拶を頂きました。

射手：新家会長、介添：飯島、甲斐両錬士による矢渡の後、競技開始。熱戦の火ぶたが切られました。実際の競技参加者339名中4射2中以上の165名(48.7%)が予選を通過。内4射皆中者は14名でした。

決勝射詰は、1回目で一手皆中者44名に絞られ、2回目一手皆中11名により八寸的に変えて優勝が争われました。その八寸的に2回中させ、決勝6射を詰めた小川弓道会の高木博志選手が優勝の栄冠を勝ち取りました。所弓連では、10位に上橋 宏選手、14位に奥富季乃選手が入賞しました。



表彰式では10位までの入賞者に賞状及びトロフィーが、また優勝者には竹弓、準優勝者には竹矢、ほか25位までの入賞者全員にそれぞれ矢や矢筒などの副賞に加え、協賛副賞の大きなチョコレートやニチバン製品が贈られ大喜び。また来年の再会を約して無事お開きとなりました。



今回は武道館における初めての大会でしたが、予選を3人立ち3射場とし、競技の進行が早まったため、閉会が午後4時35分と従来に比べ大分早くなりました。駐車場も従来より多く、また体育館、会議室等が利用出来ることにより、天候に左右されることもなくなり、参加者にとっても運営側にとってもやりよくなりました。

その一方で射場と控室が2つの階に分かれるなど従来と条件が変わる中、役員各位には事前の諸準備及び当日のスムーズな運営に様々な工夫と多大のご協力を頂き、滞りなく無事大会を開催する

ことが出来ました。ここに改めて感謝致します。
(総務部長 飯島稔凱)

♪～♪～ COFFEE・TIME ♪～♪～

次なる詩は中国のある詩人が「自分はこう有り
たい、こう有るべき」と感じ「水」にたとへ
て綴った詩であります。

この「水」の文字を「人」に置換えて読ん
でみて下さい。

きっと何かを自分に感ずる所が見えてくる
かも知れません。

**自ら活動して他を動かしむるは「水」なり。
常にその進路を求めて止まざるは「水」なり。
障害に逢いて激しく其の勢力を倍加するは
「水」なり。
自ら潔くして他の清濁を洗む。清濁合せ
入るは「水」なり。**

Mr. KaTaBaMi

所沢市弓道連盟納射会

心地よい晴天の下、12月12日師走恒例の所
沢市弓道連盟納射会が開催！

昨年を上回る96名の参加に競技部一同張り切
り、実力の差が極力出ない様に配慮をしながら、
参加者を32チームに編成しました。

競技内容は、団体戦・個人戦と分かれ、四ツ矢
2回計8射・得点制の予選結果を基に団体戦・個
人戦の成績としました。また、ボーナス得点とし
て1的に2枚ずつ貼った金シールに中った場合は
15点としました。

射手新家会長、第一介添藤原敬一さん、第二介
添澤田靖子さんの矢渡の後、予選を開始。参加者

全員が「召集→弓を引く→看的」と慌しい流れを
こなさなければならなかったのですが、そこは射
会慣れした会員の皆さんの連携で、滞ることなく
スムーズに和気藹々と進行されました。また、ボ
ーナス得点獲得者も続々現れ、看的もチーム単位
で「中ってる」「すごいな」などと言葉を交わしな
がら楽しく行っていただいたように見受けられま
した。

予選は正午過ぎに終了。直ちに得点上位16チ
ームが発表され、トーナメントのくじ引きが行わ
れました。因みに予選通過の得点ラインは33点。
トップ通過は下田チームで61点でした。ここで
涙を飲んだチームの方々、次回がんばりましょ
う！くじ引き終了後、参加賞のシュークリームが
配られ昼食時間となりました。

昼食後、決勝トーナメントを開始。予選同様得
点制とし第1射場 vs. 第2射場、第3射場 vs.
第4射場による接戦が繰り広げられました。サド
ンデスとなる対戦もあり、トーナメント参加チ
ームはもちろん観客も盛り上がりました。

決勝は渡邊チームが下田チームを制し優勝！
個人戦では優勝が二段以下の部 田中健一さん
参・四段 中村徳海さん 五段以上 粕谷吉一さ
んでした。入賞した皆さん、おめでとうございま
した！残念ながら、入賞を逃した皆さん、参加で
きななかった皆さん、次回納射会でお待ちしてい
ます。

あらためまして、たくさんの会員の方にご参加
とご協力をいただき誠にありがとうございました。
また、引き続き射会への積極的なご参加をよろし
くお願い申し上げます。(競技部 中村康代)

熊野神社歳旦百射会

「厳しい冷え込み」と言う天気予報が当たったが、
風が殆ど無くあまり寒さを感じない、大晦日の午
後9時。恒例の「歳旦百射会」が始まった。

甲斐競技部長の先導による、神前拝礼、射候説

明の後、矢渡が、射手、下田徹（錬士六段）介添中村康代（三段）、澤田靖子（四段）により行われた。

矢渡の厳粛な雰囲気の中で、的中の快音を聞き、気分も盛り上がり気合も入った所で、準備できた人から順に6人立ち、4ツ矢、立射による競技が始まった。

射終えた参加者が順次看的を行い、的前から射場に向けて大声で的中数を報告し、それを射手が確認をして各自が記録用紙に記入するという形式で競技が進められた。

長丁場の競技のため、各自それぞれが適当に暖を取り、用意しておいた、お茶、コーヒー、お菓子、お餅、干し芋、みかん、それに差し入れをしていただいたコーンスープ等でエネルギーを補給したり喉を潤したりしながら和気藹々の談笑や、また時には厳しいプレッシャーも有って、射会は楽しく進行した。

午前0時を迎えたところで、参加者全員で「新年明けましておめでとう！」の挨拶を交わした。

気持ちも新たに、新家会長を先頭に参加者全員で熊野神社本殿に参拝、三上宮司に御祓いをして頂き新家会長が代表して玉串奉奠、身も心も引き締めて、全員で参拝をした。参拝終了後、三上宮司よりお神酒と破魔矢を賜り、道場に持ち帰った。

引き続き競技を続行。寒さ対策としてジャケットを半分下ろし、下からはビニール板で衝立をするも、さすがに零時を回ると、冷え込みも強くなり、また少しづつ眠気も襲いはじめ、行射のペースもダウンし始めたが、各自自分のペースを守りながら100射完了を目指した。

最初の100射完了者の時刻は1月1日午前3時4分（所要時間6時間4分）定刻の31日午後9時スタートの最終100射完了者は午前5時11分であった。

尚、熊野神社へ初詣のみなさんへPRと協力依

頼を兼ねて、次の様な貼紙を道場の金網に張り出した。

『熊野神社「歳旦百射会」を行っております。

この射会は、所沢市弓道連盟の有志が大晦日の午後9時より元旦の正午までに100射を行い、その的中数を競う競技です。



百射会入賞掲額

的中上位5位には、熊野神社宮司様より賞状並びに大破魔矢を頂き、その名を神社の境内に顕彰される栄誉が頂けます。この射会も39回目を迎え、今までの最高の中数は第3回（昭和49年）に手島正選手が記録した100射97中です。この記録は偉大なもので36年間未だに破られてはおりません。』
(竹下正博)

平成二十三年初射会

1月16日、今年も恒例の所沢市弓道連盟新年射会が熊野神社道場で開催されました。

当日は朝の気温が0度近くまで下がりましたが好天に恵まれ、参加者は92名と、神社道場では居場所に窮するほどの大人数で、あふれんばかりの熱気に包まれた射会となりました。

新家透会長の先導による神前拝礼に始まり、所沢市弓道連盟顧問の並木正芳先生、秋田孝先生、橋田榮次名誉会長のご挨拶を賜り、六段昇段の三好啓子先生への記念品授与、百射会の成績発表を経て、開会式を終え、演武に移りました。最初は射手草賀淳教士六段による巻藁射礼。普段なかなかお目にかかれない演武で、澄み渡る空気の中、「エー！ ヤッ！」と気合の入った行射が道場に冴え渡りました。



続いては射手新家会長による矢渡。矢渡は、射会参加者には行射の見本として大変重要な見取稽古となりますが、新年にふさわしい粛々とした行射をご披露され、一同大変参考になりました。

その後、参加者一人ずつの一手坐射（5人立ち）に移り、見原重信教士六段から小学五年のスポ少生徒まで90名が、今年一年の精進の気持ちを込めて、思い思いに2本の矢を引きました。

全員の奉射が終わると、金的、扇的による余興です。これはそれぞれ5つの的に対して、低段者から一人1本ずつ中りが出るまで順番に引いていく競技です。最初に行われた金的は約30分強、延べ250～300本ほど引きましたが、5つの的すべてに中りは出ず、3中のみで中断となりました。

一方扇的のほうは、的も大きいとあって15分くらいで5つの中りが出ました。以下に、的中者（敬称略）を記します。

《金的賞》

天位：三好啓子、地位：石川淳子、
人位：宮本莉緒、[四位、五位は該当者なし]

《扇的賞》

天位：松寄 昇、地位：関口二郎、
人位：栗原大智、四位：中根幸二、
五位：平山夏子

行射は以上で、最後に神前拝礼を行い、初射会

の次第を滞りなく終了しました。

また、昼過ぎからは懇親会も催されましたが、当麻よし子所沢市長もお見えになり、和気藹々と会員同士の親睦が図れました。

「一年の計は元旦にあり」と申しますが、所弓連新年最初の行事が、厳肅かつ賑々しく終えられ、今年も各行事や日々の修練が盛んに行われることを予感させる、とてもよい射会でありました。

今年も事故無く、楽しく弓に携わるとともに、個々に目標を立て、日々精進するようお互い頑張りましょう。

皆様の健康とご多幸をお祈りいたします。

(競技部 広瀬雅孝)

∞ お知らせ ∞

初心者教室修了生アフターフォロー

毎週土曜日の午後武道館において、指導部により主に初心者教室修了生を対象にしたアフターフォローを引き続き行っています。

神社道場利用者アンケート結果

神社道場利用者を対象に昨年11月に実施したアンケート結果を添付いたします。昨年度に引き続き2回目ですが、有意義なご意見をいただき有り難うございました。

ただ、神社道場利用者数に比べて回答数が少ないように思われます。全てのご意見に対応出来ないこともありますが、意見を出していただかなくては検討のとば口にも立てません。次回以降積極的なご意見を期待しています。

∞ 今後の行事予定 ∞

- 3月 5日 所弓連指導者講習会（武道館）
- 3月13日 月例射会（遠・近）（神社道場）
- 4月10日 所弓連理事会（武道館）
- 4月23日 所弓連総会（熊野神社社務所）

∞ 会長月誌 ∞

- 10月17日 所沢市体育協会第11回陸上
選手権大会役員(駐車場係外上橋)
- 10月17日 熊野神社秋季例祭参列
- 11月7日 第16回武道祭実行委員会会議
- 11月20日 埼弓連理事会に出席
(特記事項)
- ・今年度武道功労者は松沢岳先生
 - ・23年度から定期中央審査を名古屋でも開催
 - ・埼玉県では、高校生の一般大会への出場は認めない
- 11月24日 熊野神社宮司に上期管理料を届
- 12月6日 鈴木博先生 通夜
(12月7日告別式)
- 12月17日 平成22年度(第51回)所沢市
青少年三道大会反省会
- 12月19日 年末の挨拶回り(理事長同行)
熊野神社宮司、熊野神社氏子会長
東・西新井町町内会長、
遠的場地主
- 12月26日 平成22年度市民武道館利用
団体連絡調整会議
- 1月6日 平成22年度財政援助団体等監査
(書面調査) 外理事長 海老名会計
- 1月6日 平成22年度財政援助団体等監査
(書面調査) 外理事長 海老名会計
- 1月22日 埼弓連平成22年度第3回理事会
平成22年度行事・決算報告案
平成23年度行事予定・予算案
- 1月23日 平成22年度武道祭実行委員会
- 1月28日 平成22年度財政援助団体等監査
(現地調査) 外理事長 海老名会計
- 1月29日 埼弓連総務委員会

∞ お悔やみ ∞

本号2頁に森田元理事長の追悼文が寄せられておりますが、去る11月27日 所沢市弓道連盟第7代会長 教士七段 鈴木博先生 が逝去されました。享年88歳でした、心からご冥福をお祈りいたします。

なお、所弓連五十周年記念誌に先生が寄稿された「50周年に寄せて」も是非お読み下さい。

∞ 編集後記 ∞

昨夏の猛暑・多湿からは、とても今冬の厳寒・豪雪を想像できませんでしたが、二十四節気の[雨水]も過ぎ暦通りの暖かさとなってきました。

Coffee・TimeのMr. KaTaBaMiには、軽く斜め読みとはいかない内容ですが、それぞれのステージで自分自身に思いをめぐらす年頭にふさわしいコラムを寄せていただきました。

また、競技部員の方々などから各射会の模様を報告していただきました。射会は参加者が多いほど盛り上ります。ぜひ参加して所沢市弓道連盟の会員の一人であることを実感してください。

編集委員

飯島稔凱 小林壽子 小林康則

山口正彦 山口ひろ子

所沢市弓道連盟広報誌 所弓便 第5号

発行日 平成23年2月28日

発行者 所沢市弓道連盟

会長 新家 透